

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月18日更新

事務事業名	民生・児童委員活動事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名	三苫 幸浩	
	施策	6	社会福祉の推進	所属課	福祉課	担当者名	松永 博貴	
	施策の柱	23	地域福祉の推進	所属班	社会福祉班	(内線)	2126	
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 1	事業連番 10546	根拠法令	民生委員法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
							成果優先度評価結果	③
							コスト削減優先度評価結果	⑪

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>合志市民生委員・児童委員協議会連合会へ補助金を支出し、補助金は東部民児協議会・西部民児協議会それぞれに分配される。補助金は両民児協の活動費として利用される。</li> <li>随時の委員交代に伴う民生委員推薦会を開催し、国県への事務手続きを行なう。併せて、任期3年の委員改選の手続きを行なう。(平成28年12月一斉改選)</li> <li>市民生委員児童委員協議会(東部・西部)の定例会や役員会へ出席し、民生委員活動の状況把握と相互の情報共有を図る。</li> </ul>
【業務の流れ】	①合志市民生委員・児童委員協議会連合会から事業承認申請書を受領②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受領⑤補助金の交付決定、通知⑥概算払申請書を受領⑦補助金の交付⑧実績報告書を受領⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による)⑩県補助金申請事務⑪協議会定例会、役員会への出席 ⑫民生委員推薦会の開催及び委員任命に関する事務手続き
【主な予算費目】	報酬・旅費・補助金
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会からは補助額を減額しないでほしい、増額を行ってほしいとの要望がある。</li> <li>民生委員に対して無理な要望をする市民もあり、担い手の減少に拍車をかけているところもある。</li> </ul>

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
民生・児童委員の活動に対し補助金を交付した。役員会・定例会・部会へ出席した。	民生委員活動を支援するとともに、定例会への出席などを継続し、連携を図っていく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア: 定例会開催回数	回 普通旅費(民生委員制度創設100周年記念式典(東京))の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
①民生委員児童委員協議会②民生委員児童委員	→ア: 民生委員児童委員数 (単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
①民生委員活動を円滑に行える②民生委員活動を円滑に行われるように、その活動に必要な知識を入手できる	→ア: 相談・支援件数 (単位) 件
	→イ: 延べ活動日数 (単位) 日
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	
必要な知識を入手することで、より多くの相談等に応じることができる。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア	回	24	24	24	0	24	24	24	24	
	イ										
	イ										
② 対象指標	ア	人	94	94	98	90	98	98	98	98	
	イ										
③ 成果指標	ア	件	1,591	1,748	1,500	2,149	1,500	1,500	1,500	1,500	
	イ	日	16,894	16,318	16,000	16,609	16,000	16,000	16,000	16,000	
	イ										
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	424	424	424	424	424	424	424	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	9,365	9,452	10,230	10,248	10,342	10,117	10,230	10,117	
	(A) 事業費計	千円	9,789	9,876	10,654	10,672	10,766	10,541	10,654	10,541	
(A)のうち指定経費	千円	26	78	104	141	52	52	104	52		
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	4	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	614	600	600	920	600	600	600	600	
	(B) 人件費計	千円	2,446	2,227	2,390	0	2,390	2,390	2,390	2,390	
トータルコスト(A)+(B)		千円	12,235	12,103	13,044	10,672	13,156	12,931	13,044	12,931	

事務事業名	民生・児童委員活動事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 今年度も多くの活動や相談支援が行えた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 新任委員の研修を行うことで達成すると思われる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 今後も高齢者の増加等により成果の向上余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 事業主体が異なるので統廃合は出来ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 日頃の活動に対する最低限の補助と考えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 定例の会議等があり削減の余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 民生委員活動を円滑に行ってもらうための補助であり、負担を求める性格の物ではない。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 自立した運営が単位民協ごとにてできており適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

今年度も各種研修を行った。円滑な活動が行えるようになった。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止   休止   目的再設定   事業統廃合・連携   事業のやり方改善 (有効性改善)  
事業のやり方改善 (効率性改善)   事業のやり方改善 (公平性改善)  
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策